

会 告

火薬類の製造と保安の講習会

主催 日本火薬工業会
後援 (一社)火薬学会

[講習会開催の趣旨]

日本火薬工業会は、火薬類製造保安責任者試験の受験準備を目的として、毎年「火薬類の製造と保安の講習会」を開催しておりますが、今年も下記のとおり開催いたします。

受験希望者は勿論のこと、一般火薬技術者の方々も火薬類に関する知見を高めるために受講をお奨めいたします。

[日 時] 平成26年9月1日(月)～9月3日(水) 毎日9時30分から(但し、初日は9時30分受付10時開始)
《なお煙火関係の講習会は、別途、別会場で行います。申し込みは、(公社)日本煙火協会へ直接
お願いします。》

[会 場] 北とぴあ902会議室(9階)

住所: 東京都北区王子1丁目11-1 電話: 03-5390-1100(代)

交通: JR京浜東北線王子駅 北口徒歩2分、地下鉄南北線王子駅 5番出口直結

アクセス方法: http://www.kitabunka.or.jp/kitaku_info/rlink/summary-map

[受講料]

	受講者の区分	受講料(円)
A	B又はC以外の一般の方	35,000
B	受講者自身が(社)火薬学会の会員となっている方	25,000
C	受講者が日本火薬工業会会員会社に勤務している方	15,000

尚、受講料にはテキスト代を含んでいます。

[申込締切] 平成26年8月1日(金) 定員54名。定員になり次第、締め切らせて頂きます。

[申込方法] 申込書に受講料(現金書留)を添えて日本火薬工業会にお送り下さい。

なお、銀行振込送金の場合は下記に振込み、申込書を別送して下さい。

みずほ銀行京橋支店 口座番号: 2026055 (普通)

口座名: 日本火薬工業会 製造保安講習会

切—取—線

平成26年度火薬類の製造と保安の講習会申込書

氏 名	(年 令 才)		受講者区分: 該当者欄に○印 ↓		
勤務先 (連絡先)	〒所在地		A	B又はC以外の一般の方	
	社 名		B	(一社)火薬学会会員	
	部課名				
学校における専攻			C	日本火薬工業会会員会社 に勤務の方	
受 講 料		送金方法: 該当欄に○印			
金	万5千 円 也	現金書留	銀行振込		

[申 込 先] 〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-22 一乗寺ビル3F
日本火薬工業会 (電話:03-5575-6605 FAX:03-5575-6607)

- [注 意] 1. 申込受付け後、領収書及び聴講券を送付します。出席の都度、聴講券をご提示下さい。
2. 講義内容及び講師は、都合によって一部変更されることもありますのでご了承下さい。
3. 教材として「火薬学」(日本火薬工業会資料編集部)第2版、「エネルギー物質ハンドブック」第2版(旧版 火薬ハンドブック)(共立出版)及び「火薬類取締法令集」(日本火薬工業会資料編集部)を使用しますので、ご持参下さい。なお、本講習会に参加される方で購入を希望される方には、講習会場にて下記の価格で頒布いたします。又、弊会HP刊行物サイトからも購入可能です。

「火薬学」(日本火薬工業会資料編集部)第2版 定価 3,800円(送料、税込み)

<従来の「一般火薬学」から大幅に変更しております。>

「エネルギー物質ハンドブック」第2版 割引価格14,000円(定価 15,000円)

「火薬類取締法令集」平成25年度版 定価 4,000円(送料、税込み)

[講義内容と講師]

1. 火薬類製造方法

火 薬:	カヤク・ジャパン(株)生産本部 環境安全グループ長	山口 潤仁
爆 薬:	日油(株) 化薬事業部企画室 技術部長	内山 幸一郎
火工品:	日本火薬工業会 技術顧問	栗原 洋一

2. 火薬類性能試験方法

燃烧爆轟理論:	(株)爆発研究所 代表取締役	吉田 正典
性能試験方法:	日本カーリット(株) 危険性評価所 部長代理	鈴木 康弘

3. 火薬類関係法令と保安全管理技術

法令:	中国化薬(株)企画部 副部長	多田 達士
保安全管理技術:	カヤク・ジャパン(株) 厚狭工場 製造課長	田口 琢也

[時 間 割]

9月1日(月) 受付開始 9時30分

時刻	10時~12時	12時~13時	13時~15時30分
講義(担当)	火 薬 (山口)	昼 食 休 憩	爆 薬 (内山)

9月2日(火)

時刻	9時30分~11時30分	11時30分~ 12時30分	12時30分~ 14時30分	14時45分~ 16時45分
講義(担当)	火工品 (栗原)	昼 食 休 憩	保安全管理(田口)	法 令 (多田)

9月3日(水)

時刻	9時30分~11時30分	11時30分~ 12時30分	12時30分~14時30分
講義(担当)	性能試験 (鈴木)	昼 食 休 憩	燃烧爆轟理論 (吉田)